

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスふらっぶ王塚台校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	縄跳び、鉄棒、跳び箱を始めとした学校体育に沿った運動指導を通じて自己肯定感を高める取り組みと、ルールのあるチームスポーツを通じて、社会性、協調性、思いやりなどの自立に必要な各種能力の習得支援。	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育に沿った種目については、年間の記録を残していき、子供たちの頑張りを支えています。 チームスポーツは、独自のルールを設定したり、ハンデをつける事により、障害の程度に関わらず、一緒に参加できるように配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者がマンネリ化しないように定期的に新しい競技を導入していきます。 他事業所とも提携して合同のスポーツ大会なども検討します。
2	漢字能力検定を始めとした各種学習支援によって、学習の遅れによる困りごとのある利用者に対するサポートを行います。学習支援の時間中は、勉強だけではなく、日常生活の訓練や、就労に向けた作業の訓練等も行います。	<ul style="list-style-type: none"> 当事業所を漢字能力検定の会場として申請しており、公開会場では受験が難しい利用者でも安心して受験していただける環境を用意しています。 独自の学習プリントを作成しており、特定の単元に躓きのある利用者でも反復して学習できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活訓練の教材を必要に応じて順次、導入します。
3	作業所との提携による、保護者も参加可能な就労先見学会や、合同イベントを行うことにより、就労を目指す本人とその家族に対するサポートを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所見学会は中学生以上から対象としており、事業所の見学だけではなく、実際に作業を体験して頂く機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 提携先作業所を増やしていき、利用者に対する情報発信を強化していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労先の情報が少なく、作業所以外にも一般就労を目指す利用者への情報発信を強化する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> 就労先の情報収集ノウハウがありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用枠のある企業の情報収集。 ハローワークなどに掲載されている就労先の情報収集。 卒業生が入社した企業の人事部との連携。
2	児童発達支援との連携が弱く、未就学の当事者とその家族に対する情報発信が弱いと思います。	<ul style="list-style-type: none"> 別サービスとの関わりを持つ機会がありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援事業所との連携。 相談支援事業所との連携。
3	今後、ますます需要が高まるとされるPCやIT関係のカリキュラムが無いので、PC関係のプログラムを検討する必要があると思います。	<ul style="list-style-type: none"> PC指導の出来る職員が限定的な為、プログラムとして安定して提供する事が出来ません。 希望者が集中した際に提供する機材のコストが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> エクセル、ワード、パワーポイントの職員への教育。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスふらっぶ王塚台校

公表日 年月日 2025年2月8日

利用児童数 年月日 2025年2月8日

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	5	0	・運動するには、人数に対してスペースが少し狭いかもかもしれません。 ・ルールを工夫して運動量を確保されていると思います。	安全を最優先に活動スペースを考慮したプログラムの提供を心がけます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	7		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	5	3	4	・視覚的支援の設置を依頼して速やかに対応していただきました。	子供たちが視覚的に判断できる看板を順次、追加していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	4	2	4	・清掃はされていると思いますが、一部破損されているところが気になります。	破損箇所については、順次、修繕を行います。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	4	・子供のことをよく理解してくれています。 ・作業療法士の職員の方がいると助かります。	職員の拡充は引き続き継続してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	5		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2	0	0	・個別支援計画の中身は十分に納得できます。	引き続き、当事者とご家族に分かりやすい計画作成に努めます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	3	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	7	3	4	・地域との交流は必要ないと思います。	安全管理や保護者の要望の調整が出来る用であれば、地域交流イベントも検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	5	2	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	1	4	・相談支援センターをご紹介いただいたおかげで、困りごとが解消されました。	関係機関と密に連携しながら、当事者とご家族の支援に努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1	1	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	5	1	3		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	0	1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	0	・インスタグラムをいつも楽しみにしています。 ・インスタで子供の様子を見る事が出来て嬉しいです。 ・普段、見る事の出来ないイベント時の様子を見られて助かります。	イベントの案内は継続していき、療育に役立つ情報など、各種情報発信も検討します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	1	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	0	・何かある度に電話またはメールで教えてくれるので安心しています。	引き続き、利用中の様子が伝わりやすい内容作成に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	1	1	・楽しみにしています。	引き続き、意欲的にプログラムに参加してもらえるように職員一同、工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1	0	1	・いつもありがとうございます。 ・見学できる作業所が増えると助かります。	提携先作業所を増やしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスふらっぴ王塚台校				公表日	2025年 2月 8日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・座席位置などをバランスよく配置することにより、一人当たりのスペースを確保しています。	・合同で過ごす場合にはスペースが十分でない場合があります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・支援度の高い子は管理者や経験値の高い職員が対応を行っています。	・作業療法士などの専門性の高い職員の拡充が課題です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・子供たち自身の判断で必要な行動が取れるように看板などの視覚的支援を行っています。	・視覚的支援の拡充が課題です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・営業終了時に清掃を必ず行っており、コロナ以降は消毒も並行して行っています。	・消毒活動の職員負担が課題です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・クールダウンを行うことが出来るように相談室は常時開放しています。	・クールダウンをするスペースが限られていることが課題です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・職員の困りごとがあった時は速やかに管理者へ報告を行い、全社的に協議しています。	・勤務日数が少ない職員との共有が課題です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・職員間で共有する連絡ノートを事務所においており、利用者に関する追加情報がある時は連絡ノートに記載して、いつでも確認できるようにしています。	・仕事などの事情により、連絡がつきにくいご家族への対応が課題です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・朝礼、終礼で必ずその日にあったことや、職員からの意見を共有するようにしています。	・長期休暇期間中だと、朝から直接支援にあたっており、十分な共有が出来ないことが課題です。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者による外部評価は行っていません。	・外部評価先に関する情報不足が課題です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	・要件を満たした人員については順次、資格取得をしてもらっています。事業所内でも支援方法について見直しがあった場合は、随時共有しています。	・勤務日数の少ない職員への法人内研修の実施が課題です。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HP上に公開する予定です。	・支援プログラム作成ノウハウが不足していることが課題です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・計画書の作成には職員の支援時に得た情報も取り入れるようにしています。	・達成度に対する評価基準の標準化が課題です。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・課題があった時は、職員間でも検証を行っています。	・言葉でのコミュニケーションが難しい利用者に対する評価が課題です。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個別支援計画書に関する情報は、別紙に一覧として取りまとめて、支援中にいつでも確認できるようにしています。	・リストの確認が習慣化されていない職員への教育が課題です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・気になる行動があった場合は、朝礼、終礼に限らず、その場で管理者へ報告するようにしています。	・標準化されたツールの拡充が課題です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・特に家族支援と本人支援に力を入れて内容の設定をしています。	・移行支援と地域支援・地域連携が課題です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・プログラムの設計には職員の意見も取り入れるようにしており、提供してからも不具合があった場合は、随時見直しています。	・立案が同じメンバーで行われるため、マンネリ化する可能性があることが課題です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・ベースとなるプログラムとは別にサブプログラムは定期的に見直し、変更を行っています。	・ベースプログラムの拡充が課題です。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・集団活動については職員の見も取り入れるようにしています。	・集団活動の拡充が課題です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼と連絡ノートを用いてチーム支援に役立てています。	・連絡ノートなどの過去の情報が紙ベースの為、過去の情報を振り返りがスムーズに行いにくいことが課題です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	・終礼時にその日の出来事や気になる事案を共有して、対応については即時連絡ノートに記載しています。	・気づいた点などの把握状況に差があることが課題です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援に関する記録は一覧にして、支援時にいつでもすべての職員が確認できるようにしています。	・支援に関する記録について、一部紙ベースの為、システムやソフトウェアの導入による効率化が出来ていないことが課題です。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年に1回に限らず、設定した計画を達成した場合には、保護者と協議のうえ、随時見直しを行っています。	・仕事のなどの事情により、連絡が取りにくい保護者への対応が課題です。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・出来るだけ組み合わせるように心がけています。	・全てに対応するには、職員への教育を徹底する必要があると思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・子供たちの判断を尊重して、躓くことなく実行できるように支援しています。	・自己決定を促すような器材等の導入が課題です。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	・必要に応じて関係機関と連携して担当者会議を行っています。	・学校によっては、担当者会議への参加が難しいケースがあることが課題です。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じて関係機関と連携して担当者会議を行っています。	・連携先関係機関の拡充が課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・日頃より、各種情報は必要に応じて速やかに通園先と共有するようにしています。	・事業所数の増加に伴い、送迎車両の敷地内侵入が出来ない場合に、やむを得ず敷地外に駐停車する場面があり、近隣住民への迷惑になる可能性があることが課題です。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・就学前に保護者に情報提供を呼び掛けています。	・就学前の通園先との連携強化が課題です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・必要に応じて保護者の承認を得たうえで、情報提供を行っています。	・卒業後のフォローアップが課題です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・連携が必要な事案があった場合には関係機関と連携しています。	・関係機関との連携先の充実が課題です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・保護者の要望があった場合には、機会を設けるように調整します。	・地域との交流に伴うトラブル発生リスクが課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	・コロナ禍以降、自粛していましたが、体制が整い次第、再び参加を検討します。	・自立支援協議会参加への時間確保が課題です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳だけではなく、送迎時に直接口頭で連絡するようにしています。	・仕事などの事情により、連絡がつきにくいご家族への対応が課題です。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・要望があった場合には、関係機関の協力も得ながら情報提供を行っています。	・仕事をされているご家族がほとんどの為、研修や勉強会などの機会確保が難しいことが課題です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・実際の用紙を用いながら説明を行い、不明点がある場合には、その場で回答するようにしています。	・支援プログラムについてはボリュームがあるため、すべてをアナウンスすることが難しいことが課題です。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・子供の性格や障害特性を踏まえた話し合いを行うように心がけており、本人や家族の意向に相違があった場合には速やかに修正しています。	・仕事などの都合により、連絡つきにくいご家族への対応が課題です。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・出来るだけ分かりやすい文面作成を心がけており、不明点や修正点がある場合には速やかに対応しています。	・仕事などの都合により、連絡つきにくいご家族への対応が課題です。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・相談があった場合には面談とは別に相談援助を行う機会を設けており、必要に応じて関係機関への仲介もしています。	・幅広いニーズに応えられるように、関係機関との連携強化が課題です。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・親子参加型のイベントを企画して、家族間での交流の機会を設けるようにしています。	・お仕事の都合上、日中に父母の会や保護者会を実施する事が難しいことが課題です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった場合には、事業所内だけではなく、全社で共有して、類似案件も考慮した対応の協議を行っております。	・苦情に対するフォローアップが課題です。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・イベントごとに出来るだけタイムリーにSNSを通じて情報発信を行うようにしています。	・利用時やイベント時の様子をアップする際に、表情まで見ていただきたいが、個人情報の兼ね合いで加工する必要があるのが課題です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報の閲覧ができる職員を限定しています。	・個人情報取り扱いに関する従業員教育の教科が課題です。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・伝わりづらいコミュニケーションについては、保護者の情報なども参考にしています。	・PECSなどの機材の不足が課題です。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・今のところ地域住民を招待するイベントは考えておりません。	・第三者の事業所への開放に関するノウハウや安全管理が課題です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・様々なシチュエーションを想定した各種訓練を実施しています。	・利用日数の少ない利用者が訓練に参加できていないことが課題です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・様々なシチュエーションを想定した各種訓練を実施しています。	・BCP策定ノウハウが少ない為、質の向上が課題です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・てんかん発作のある利用者については、本人のかかりつけ医院からの情報を提供してもらっています。	・てんかん発作については、一人ひとり症状や対応が異なるため、対応が混同しないように教育を強化することが課題です。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食物アレルギーのある利用者については、対象者をリスト化し、必要に応じて口のできるおやつを持参してもらっています。	・アレルギー物質に対応した食事系イベントの企画が課題です。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・日頃より安全を最優先にプログラム提供担任する従業員教育を行っています。	・自社で作成した紙ベースの教材が中心となり、動画などより分かりやすい教材が不足していることが課題です。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・災害発生時の避難ルートや避難先などを書面化して配布しています。	・仕事などの都合により、連絡つきにくいご家族への対応が課題です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝礼、終礼時にヒヤリハット事案については共有しています。	・ヒヤリハット発行基準が曖昧なため、個人の間隔にゆだねられていることが課題です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・定期的に虐待防止研修を実施し、職員からの意見の聞き取りなども行っています。	・自社で作成した紙ベースの教材が中心となり、動画などより分かりやすい教材が不足していることが課題です。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・原則、身体拘束は行わない方針にしています。	・他害行為が発生した場合に、女性職員だと対応しきれずに双方がけがを負う可能性があるのが課題です。	